

～第2次金沢版総合戦略の策定について～

【国が示す新たな視点】（内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局「まち・ひと・しごと創生基本方針2019について」より引用）

（1）地方へのひと・資金の流れを強化する

- ◆将来的な地方移住にもつなげる「関係人口」の創出・拡大
- ◆企業や個人による地方への寄付・投資等への資金の流れの強化

（4）民間と協働する

- ◆地方公共団体に加え、NPOなどの地域づくりを担う組織や企業と連携

（2）新しい時代の流れを力にする

- ◆Society5.0実現に向けた技術の活用
- ◆SDGsを原動力とした地方創生
- ◆「地方から世界へ」

（5）誰もが活躍できる地域社会をつくる

- ◆女性、高齢者、障害者、外国人など誰もが居場所と役割を持ち、活躍できる地域社会を実現

（3）人材を育て活かす

- ◆地方創生の基盤をなす人材に焦点を当て、掘り起こしや育成、活躍を支援

（6）地域経営の支援で取り組む

- ◆地域の経済社会構造全体を俯瞰して地域をマネジメント

第2次金沢版総合戦略への反映

【現行戦略の内容と新たな視点の例】

1. 若い世代に優しく、子育ての喜びが実感できるまちをつくる

- （1）妊娠、出産、育児を包括的に支援する体制
- （2）金沢らしい子育てサポートの推進
- （3）結婚の希望をかなえるための環境づくり
- （4）女性が活躍しやすい環境づくり

【新たな視点】（一例）

- ・男性の育児参加を促す環境づくり
- ・RPAやAIの活用による働き方改革

2. 学都金沢の強みを生かし、学生がまちに愛着を持ち、人々が集うまちをつくる

- （1）高等教育機関と連携した「学都金沢」の推進
- （2）金沢らしさを生かした移住・定住の促進
- （3）まちに愛着を持つ人材の育成

【新たな視点】（一例）

- ・金沢と継続的に多様な形で関わる「関係人口」の創出・拡大
- ・金沢SDGsの推進

3. 技術革新の進展等を踏まえた産業と雇用が創出されるまちをつくる

- （1）新幹線開業による観光産業の強化
- （2）金沢ブランドを活用した独自産業の創出
- （3）小規模企業者・店舗等への支援
- （4）多様な主体との連携による新分野産業の創出

【新たな視点】（一例）

- ・新たな価値創造拠点による金沢独自の文化と産学官の叡智の融合
- ・地場企業・起業家の第4次産業革命への対応支援（Society5.0実現）
- ・市民生活へのAI等技術の実装、デジタル情報時代を担う子供の育成

4. 周辺地域と連携し、暮らしやすいまちをつくる

- （1）圏域連携による経済・生活圏の形成
- （2）コンパクトシティの形成
- （3）コミュニティ環境の充実
- （4）元気な中山間地域の形成
- （5）あらゆる世代が健康に暮らせる地域づくり

【新たな視点】（一例）

- ・アクティブシニアの活躍
- ・外国人材の活躍と多文化共生社会
- ・就職氷河期世代への対応
- ・MaaSの推進